



研修プログラム・研修施設申請書

(申請書類)

プログラムの特徴

プログラムの名称	出雲家庭医療学センター在宅医療フェロウシップ		プログラム・コーディネーター*1	奥野誠
研修期間*2	1年 月		受け入れ人数*3	1名
代表施設名*4	名称	出雲医療生活協同組合 大曲診療所		
	住所	(〒693-0011) 島根県出雲市大津町1941		
	電話番号	0853-21-1186	問い合わせ先メール	okuno@oomagari.com
研修施設名2*5	(指導医)	研修施設名3	指導医()	
研修施設名4	(指導医)	研修施設名5	指導医()	
研修協力機関*6	研修協力医			
研修プログラムの特徴(自由記載)	出雲家庭医療学センターは日本家庭医療学会認定の後期研修プログラムを運営しており、現在3人の後期研修医が研修中である。本プログラムは、家庭医療後期研修修了者を対象とし、在宅医療を得意とする家庭医の養成を目的としている。研修の中心となる大曲診療所では、狭義の在宅医療にとらわれず、「元気なうちからかかりつけ」をモットーに、外来と在宅を継続的に捉え、診療にあたっている。NPOいずも在宅支援ネットワークに参加するなど、地域内での連携強化に努めている。また、教育においてはポートフォリオの導入にいち早く取り組み、鈴木敏恵氏とのコラボレーションも行ってきた実績がある。指導医は、ファシリテーション、コーチング、タイムマネジメント、経営、プレゼンテーション、ネゴシエーションなどのビジネススキルに長け、医学・医療にとらわれず、幅広くバランスのとれた医師養成を可能としている。			
ポートフォリオ領域(研修において特に力を入れている領域について)*7	1 A-1 複数のproblemを抱えた高齢者にたいする包括的・総合的アプローチを得意としている 2 A-2 症状緩和に加え、スピリチュアルケア、グリーフケアに取り組んでいる 3 A-3 地域において神経難病、各臓器不全の在宅医療の中心を担っている 4 B-2 家庭医のスペシャリティである患者中心の医療と家族ケアを在宅にいても実践している 5 B-5 ファシリテーションの技法などを用いた継続的な診療の質改善活動をおこなっている			

*1 プログラム全体の責任者名を記載してください(プログラムコーディネーターは指導医に限ります)。 *2 研修期間は1年以上必要です。
 *3 受け入れ人数は指導医数の2倍を超えてはならない。 *4 プログラムコーディネーターの所属する研修機関名を記載して下さい。
 *5 代表施設名以外の研修機関の名称を、指導医のいる研修施設は指導医名をお書き下さい。プログラムに所属する研修施設の半数以上に指導医が必要です。
 *6 プログラムで何らかの協力体制にある研修機関名と協力医名を記載して下さい。 *7 ポートフォリオ領域を参考に、プログラムで特に学べる点についてお書き下さい

研修施設概要

研修施設名	大曲診療所		研修受入人数*1	1人
住所	(〒693-0011) 島根県出雲市大津町1941			
電話番号	0853(21)1186	F A X	0853(21)1217	
メールアドレス	okuno@oomagari.co	ホームページ	http://www.oomagari.com/clinic/	
医師数(常勤/非常勤)	2人/6人	在宅患者総数(年間)*2	154人	
がん患者数(年間)*2	20人	在宅看取り数(年間)*2	10人	
外来診療の有無	有	入院施設の有無	無	
外来人数(一日平均)	25人	ベッド数	床	
研修資源*3 (関連施設・事業所)	訪問看護ステーション、訪問リハビリ、通所リハビリ、通所介護、居宅介護支援事業、急性期病院(180床)、リハビリテーション病院			
在宅で実施可能な手技	診断(検査)*4	(自宅) 血液検査、尿検査、血液ガス分析、心電図、腹部・心エコー、ホルター心電図、パルスオキシメーター	(外来) X線単純撮影	
	治療*5	持続皮下注、中心静脈栄養、経管栄養(PEG、PTEG、経鼻、空腸瘻)、気管切開、HOT、NIPPV、人工呼吸器、膀胱留置カテーテル、膀胱瘻など		
指導医氏名	奥野 誠			
指導医略歴	日本家庭医療学会指導医、日本医学教育学会、島根県母性衛生学会、日本ファシリテーション協会、NPOいずも在宅支援ネットワーク理事、島根家族ケア研究会、島根大学医学部看護学科大学院在宅ターミナル看護論嘱託講師(08年度)			

*1 一つの研修施設の受け入れ人数は、指導医数の2倍を超えてはならない。指導医のいない研修施設の受け入れ人数は1名とすること。
 *2 いずれも最近1年間の人数を記載して下さい(年間看取り数10名以上の施設では、緩和ケア研修は免除になります)。
 *3 同一法人内あるいは関連施設内にある研修に関連する施設や機能(訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、訪問リハビリ、訪問栄養、訪問歯科、調剤薬局、グループホーム、老健、療養型病床、特養、有料老人ホーム、ケアハウスなど)についてお書き下さい。
 *4 在宅研修施設において、診断のため実施可能な検査や使用可能な検査機器について、自宅と外来に分けてお書き下さい。
 *5 自宅で実施可能な治療をお書き下さい。